

◎個人投資家、「年金75歳から」賛否拮抗

日本財託が投資用不動産を所有する個人投資家を対象に、年金受給の繰り下げ可能年齢（現行70歳まで）に関しアンケート調査（有効回答631件）を実施したところ、内閣府の有識者会議で意見が出た75歳まで引き上げる案について、賛成が50・3%、反対が49・7%と賛否が拮抗した結果が出た。世代別にみると40歳代以下は6割が賛成で、50歳代以上は6割近くが反対だった。40歳代以下の賛成の理由は「選択肢が増える」や「年金財政維持のためやむを得ない」、50歳代以上の反対理由は「平均寿命や健康寿命を考えると遅すぎる」「受給まで働き続けられない、働きたくない」などが多かった。現行の受給開始年齢は原則65歳だが、70歳まで受け取りを繰り下げると受給額が42%増える。